

特集

未来へつなぐ先端の学び

“医”の探究心を
育てる

高知大学医学部 先端医療学コース

先端医療学推進センター
メディカルデータマイニング研究班

データで見える未来の医療



Action! 地域×高知大学

優れた授業力・指導力を持った
理科教員を育てる

高知CST養成・活動事業

まなびの時間

「文化財保存科学概論」

高知大学ニュース

日本の地域を変える、新しい人材を育てます。



地域協働学部

平成27年4月 開設予定（設置認可申請中）

育てる人材



農・林・漁業を活かす
新ビジネスの起業家



地域再生を目指す
行政マン



地域をつなぐ
コーディネーター



地域の生活
文化を支えるリーダー

育成する能力

『地域マネジメント力』とは

1. 地域の特性を理解し、専門知識で
新たな資源を発見する『**地域理解力**』
2. 課題を発見し、解決する方法を立案し、
成果を客観的に評価できる『**企画立案力**』
3. 様々な人の価値観を尊重しあい、
地域社会の活動をリードする『**協働実践力**』

特色ある教育

- 1 年次から地域現場での実習（600時間）
- 学年ごとの研究論文作成と学習成果発表会
- グループワーク教育の徹底（専門科目の60％以上）
- 地域活性化への貢献



メールマガジン配信中／月2回配信（第2・4金曜日）

高知大学からメールマガジンを配信しています。
大学の「入試情報」から「あれこれ（これは面白い）」まで!!
登録はこちら <http://daigakuje.jp/kochi-u>





THEこうちユニバーシティCLUB

高知大学の教育、研究、地域貢献等のホットな情報をお届けします。
（スポンサー企業 高知銀行／相愛／ソフテック）
過去放送分も視聴可能 http://www.kochi-u.ac.jp/outline/kouhou/radio_fm Kochi/



FM 高知
(81.6MHz)
毎週日曜日
(9:30～9:55)

お問い合わせ先 皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。



高知大学

Kochi University

高知大学広報戦略室 〒780-8520 高知市曙町2-5-1 E-mail:kh13@kochi-u.ac.jp
TEL.088-844-8643 FAX.088-844-8033

高知大学

検索

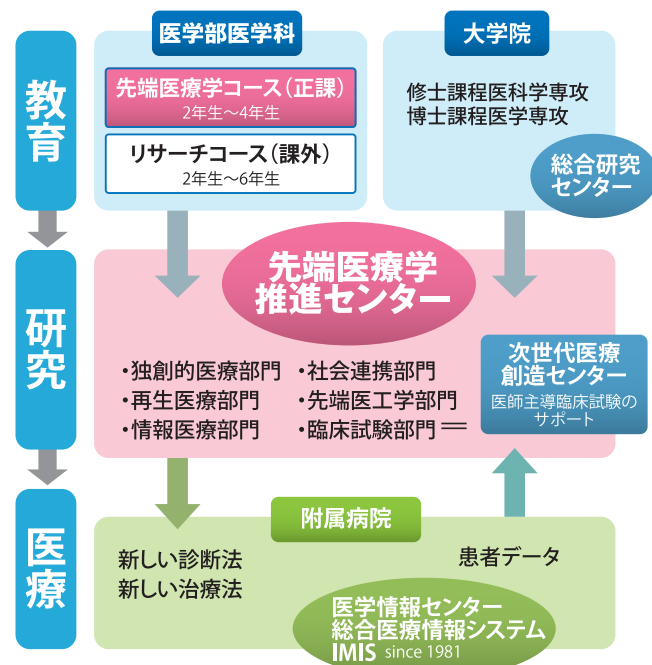
<http://www.kochi-u.ac.jp/>



〈特集〉未来へつなく先端の学び

“医”の探究心を育てる

高知大学オリジナルの最先端医療開発



先端医療学推進センター長
教育研究部 医療学系
基礎医学部門 教授
ほん け こう いち

本家 孝一

北海道大学医学部卒業、同大学大学院医学研究科博士課程中退。博士(医学)。2003年、高知大学(高知医科大学)教授に就任。専門は糖鎖生物学。「人間の考えなんて浅はかで、実験すると90%以上が想定外の結果になる。だから面白い。新しい発見につながるんです」

9月、独自の研究活動拠点として「先端医療学推進センター」を設置しました。

—「先端医療学推進センター」の特徴は？—

医学はサイエンスを追及する基礎医学と、その知見をもとに応用を考える臨床医学に大別されます。「先端医療学推進センター」は基礎医学から臨床医学、さらに実際の医療につなげる「橋渡し研究」の場という位置づけをしています。しかも、研究者だけではなく、入学早期の学生を巻き込んでいる。こうした動きをしている大学は、全国でもほとんど例がないと思います。

学生時代に研究に触れられる「先端医療学コース」

—学生が参加できるのは「先端医療学コース」という教育プログラムですね？—

平成23年度にスタートした教育プログラムで、毎年約20名が履修しています。医学科2年に進級する時、専門科目の課題探究科目として、「先端医療学コース」か「PBLコース」のどちらかを選択してもらいます。「先端医療学コース」を履修すると、学生は「先端医療学推進センター」内のいずれかの研究班に所属し、週2回、

午後の長い時間を使って研究します。研究内容はさまざまで、例えば私の研究班にきた学生は、生化学や分子生物学の研究ができます。2年から4年まで3年間続けるのが特徴で、1年目は基本を学び、2年でテーマを探し、3年で研究を仕上げるというように、段階的に学ぶことができます。

—先端医療の研究に携われて、学生はうれしく思うのでは？—

彼らは大学に入学するまでは、当然、研究をしたことがありません。授業には実習もありますが、先端医療の研究は内容がまったく違います。学生はとても意欲を持って取り組んでいますよ。全



先端医療学推進センター学生顕彰制度「相良賞」授与式 及び記念講演会

学生の研究成果が認められました

術後認知症のメカニズムと予防方法に迫る！ 日本麻酔科学会 最優秀演題賞

高齢者手術患者は術後に認知機能が低下しますが、どうしてそうなるのかは現時点で明らかではなく、有効な予防方法がありません。この研究課題では、臨床で応用できる予防方法を探索することを目的に、高齢ラットを使った実験を行い、術後急性痛とそれに伴う海馬でのサイトカインの上昇が認知機能障害に関与していること、中枢性カルシウムチャネル拮抗薬(プレガバリン)の前投与が術後認知機能障害の発症を予防できることが明らかとなりました。



医学部医学科4年生
先端医療学コース 学際的痛み治療研究班
いの りつこ

井守 聡子さん

緩和ケアの勉強がしたいと思い、麻酔科の研究班を志望しました。研究内容と自分が持っている知識が結びついた時はとても感動し、さらなる疑問と興味が湧いてきました。本当に私は未熟で、目の前にある課題や疑問に食らいつくのが精一杯でしたが、疑問点や課題を見いだすことには進歩があったのではないかと思います。患者さんが感じる「痛み」についてもっと理解を深め、患者さんにとって最良の選択ができる医師になりたいと思います。



〈特集〉

未来へつなく先端の学び

“医”の探究心を育てる

高知大学医学部 先端医療学コース

「このままでは、
医学の発展が危うい！」

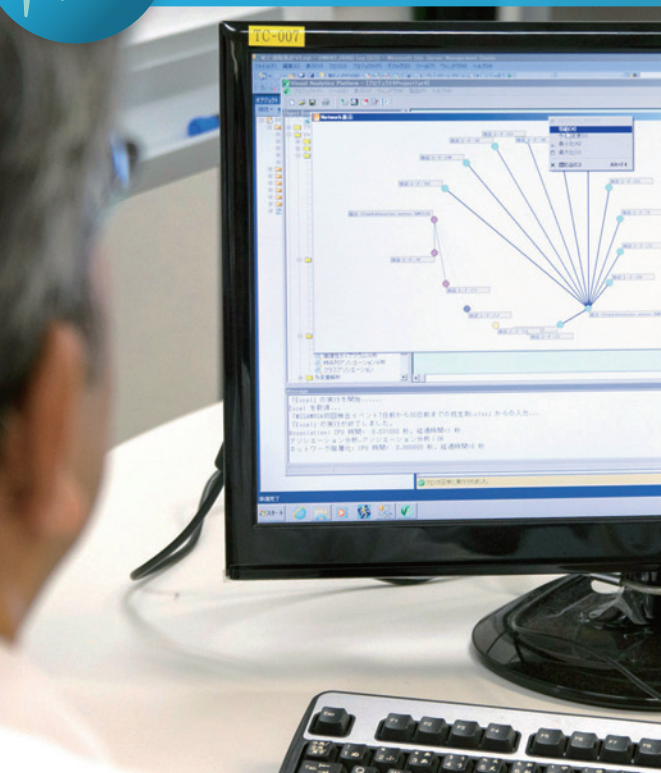
—高知大学医学部独自の「先端医療学推進センター」は、どういった状況のもとで生まれたのでしょうか？—

平成16年に始まった初期臨床研修制度により、医学部を卒業した研修医は2年間、上級医の指導下で幅広い臨床研修をすることが義務付けられています。専門分野に偏りすぎないようにと定められたもので、この制度自体には問題はありません。しかし、この制度のなかでは、医学生が目ざうとしても医療に向いて、医学の1つの重要な要素である研究が疎かになってしまいます。このままでは、日本の医学の発展が危うい。しかも、研修医は中央に集中する傾向にあります。そこで、この流れを止めるため、平成21年

高知大学医学部の「先端医療学推進センター」では、教員と学生が一体となって、日進月歩する先端医療の研究に臨んでいます。全国でもほとんど例のない学部学生を対象とした「先端医療学コース」の特徴や意義について、センター長の本家孝一先生にお聞きしました。



“医”の探究心を育てる



リカの医療機関ではある程度行われているそうですが、「日本ではあまり進んでおらず、高知大学が突出している」とのこと。高知大学発の全国に誇る先端医療の一つです。

医療データマイニング班が扱うデータは多岐にわたります。患者さんの年齢・性別・入院日・検査日・検査内容・検査結果・薬を処方した日・薬の内容・薬を処方した期間・処置や手術の内容・病名……。これら数値化が可能な情報を研究に活用します。

匿名化したデータを 仮想システムで処理

に生年月日からの相対的な日数に置き換えています。また、コンピュータは個人毎のICカードで立ち上げ、IDとパスワードを入れないと使うことができません。個人情報を利用するので、扱いには十分注意しているとのこと。医療データマイニング研究班の研究は膨大な処理能力を持つサーバーで処理されます。「仮想システム」という最先端のシステムを採用しているのだそうです。そのシステムにより、すべての処理はサーバー上で完結していて、元のデータは取り出せないで、データセキュリティ上も安全だそうです。

「例えば、糖尿病をテーマに調べるため、血糖値検査を診断能力の高い順に並べよ、という命令をコンピュータに出すといいます。するとサーバー

が迅速に処理し、昼食前の検査が最も有効で、二番目が就寝前……といった具合にモニターに表示されます」

学生が医療データマイニング班に入ると、専用のデータベース言語であるSQLを学ぶことからスタート。実際に研究に臨む際、各自が興味を覚える方向から、それぞれのテーマを選びます。奥原先生は「テーマの選び方については、割と任せっきり」だとか。学生の力を信じ、自主性を重んじた、学びの場、研究の場のようなのです。

目指すのは 予防医学への貢献

大学2年のうちから、最先端の研究に臨めるような大学は、高知大学のほかにはまずないとのこと。学生の研究に向かう姿勢を見て、奥原先生は驚くことがあるそうです。

「若い学生に機会を与えると、すごくいい仕事をするんですよ。



研究の場を与えられて、1人ひとりが本当に生き生きしており、学会発表の前など、夜遅くまで研究室で頑張っています。そんな苦労をしながら、膨大なデータから何か法則を導こうとするのはとても面白い、と言ってくれます」

医療データマイニング班では法則を発見するだけではなく、予防医学に貢献できることを目標にしています。

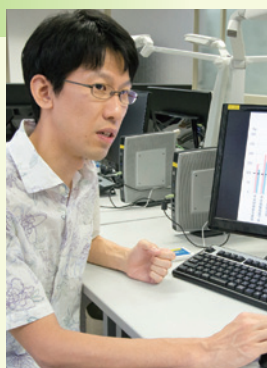
「例えば、ある検査数値の動き方の法則を見つけ、いまみたいな生活をしていると、10年後には数値はこれほど高くなるよ、あるいは生活習慣を改めたら、ここまで数値は下がるよというように予測を示せるようにしたい。今後はデータを予防医学に生かせるように、きちっとしたエビデンス（根拠、証拠）を出していくことを考えています」

奥原先生が目指す医療データマイニングの未来。高知大学発の最先端医療は、今後ますます注目度を増していくはずです。

学生の研究の成果が認められました

ピロリ菌除菌の成功群・失敗群に関する解析 日本医療情報学会 研究奨励賞

ピロリ菌の除菌に成功した群、失敗した群で、胃潰瘍をはじめとする病気の罹患率やかかりやすさがどの程度変化するか、医療データマイニングの方法論によって解析し、数字やグラフで明確に表現しました。臨床の場では、ピロリ菌に関連する病気といえば、消化器系を中心に考察されることが多いと思われませんが、データベースを使用したことにより、前立腺肥大症や腰痛など、一見関係のない疾患についても関連性を調べられた点なども評価されました。



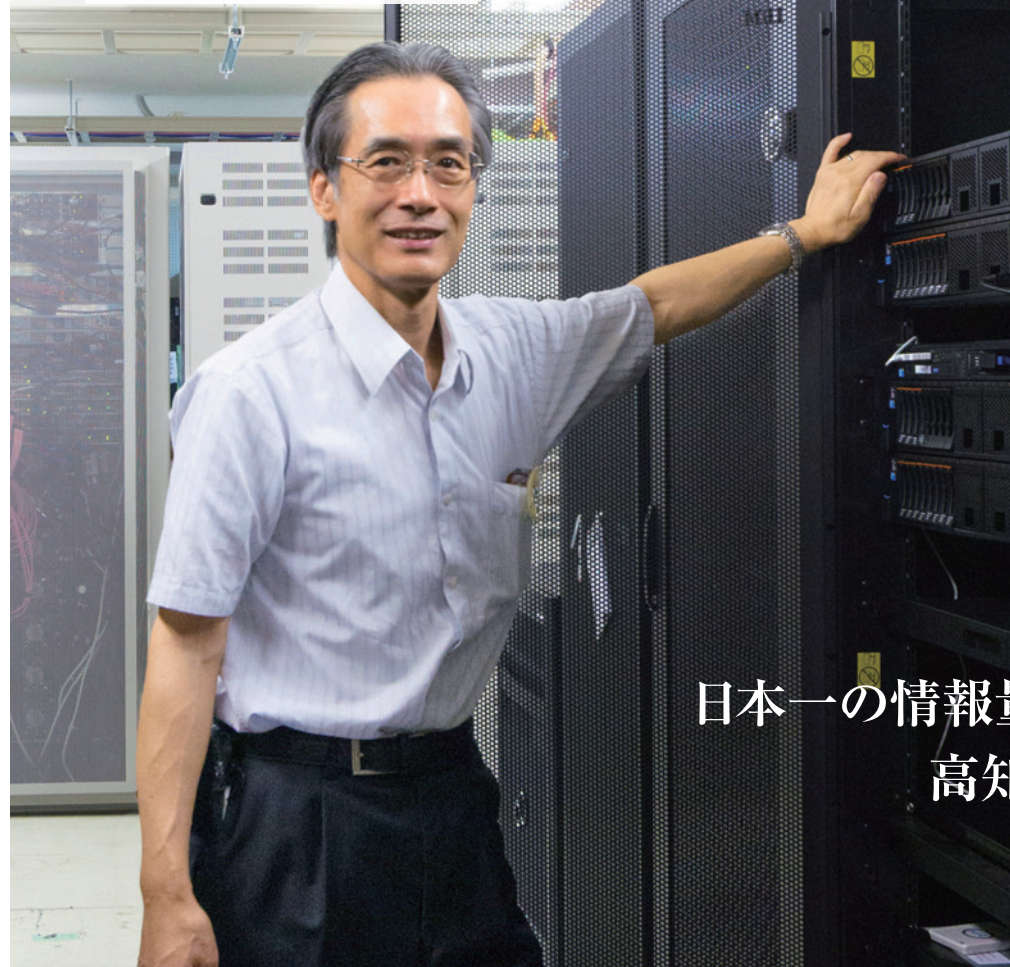
医学部医学科4年生 先端医療学コース
メディカルデータマイニング研究班
たか かし やす ひろ
高橋 康大さん

この研究班を選んだのは、自分でテーマを決めて研究できると聞いたからです。しかし、当初は医学的知識が少ないこともあり、何を研究テーマにしたらいいのかわからなくて大変でした。先生方にアドバイスをいただきながらやっていくうちに何とか形になりました。医療データマイニングでは、自由に研究をデザインできるので、学生にはとっつきやすい分野ではないでしょうか。これから3年間の集大成として、論文にとりかかろうと思っています。

医学情報センター長 教授

おく ほら よし やす
奥原 義保

東北大学理学部物理学科卒業、同大学大学院理学研究科博士課程後期終了。博士（理学）。理論物理が専門で、医学部にたどりつくとは思わなかったとか。先端医療学コースでは「学生と一緒に、楽しみながら研究をしています」



日本一の情報量が可能にする
高知大学発の研究
「情報医療学」

膨大なデータに秘められた 法則を発見せよ！

蓄積されたデータを解析し、そこに潜む関係性などを発見する「データマイニング」という技法があります。その概念を説明する時、よく例に出されるのが「紙おむつとビール」の関係。あるスーパーマーケットでデータを解析したところ、若い男性が紙おむつを買う場合、よく一緒にビールを買っていく、という予想外の結果が出たというもの。この興味深い「データマイニング」の手法を先駆的に医学教育研究に取り入れたのが、高知大学です。研究を進めているのは「先端医療学推進センター」の情報医療部

門に所属する「メディカルデータマイニング研究班」。医学部学生は「先端医療学コース」を選択することにより、この研究班で学ぶことができます。先頭に立つて研究に取り組む奥原義保先生が説明します。

「高知大学医学部の前身の高知医科大学が1981年、日本で初めて、病院情報システムを作りました。以来、さまざまな医療データが附属病院のコンピュータの中に蓄積されてきました。パソコンが普及していない時代のデータも全部残っているんです。この33年間、30万人に及ぶ膨大なデータを活用し、いままで知られていなかった規則性などを見つけようと研究しています」

メディカルデータマイニングは、ア



学校と地域と大学による 高知CST活動

高知CST拠点校・連携機関

高知CST拠点校 (2014年8月現在)

- 1 高知県教育センター (高知市)
- 2 高知市立高須小学校 (高知市)
- 3 南国市立大篠小学校 (南国市)
- 4 香美市立片地小学校 (香美市)
- 5 南国市立香長中学校 (南国市)
- 6 土佐市立高岡中学校 (土佐市)
- 7 四万十市立中村中学校 (四万十市)
- 8 高知市立青柳中学校 (高知市)
- 9 奈半利町立奈半利中学校 (奈半利町)

連携機関 (2014年8月現在)

- 10 高知県工業技術センター (高知市)
- 11 高知県立牧野植物園 (高知市)
- 12 高知県海洋深層水研究所 (室戸市)
- 13 海洋研究開発機構高知コア研究所 (南国市)
- 14 よみがえれ四万十源流の会 (津野町)
- 15 佐川町立佐川地質館 (佐川町)

※高知CST拠点校とは … これまでの実績と、理科教育に熱心に取り組んでいる学校。または、これから理科教育の拠点校として他校をリードしていく学校。

高知CSTの主な実績

理科研究 推進校の増加

- ・高知県下で理科を主たる研究教科として校内研究に取組む小学校が5校に増加。
高須小・伊野小・舟入小・片地小・大月小 (平成25年度)
- ・平成25年度「小学校理科教育研究大会四国大会」いの町立伊野小学校で開催。
※高知市以外での開催は初めてであり、大会の実行委員としてCSTのほとんどが参加。

科学クラブ 生徒の活躍

- ・「第1回 科学の甲子園ジュニア高知県大会」
高岡中 (教育長賞受賞、高知県代表として全国大会に出場)・
香長中 (銅賞受賞)・奈半利中
- ・「創造アイデアロボットコンテスト全国大会」高岡中 (中四国代表)
- ・「第65回 高知県小中学生科学研究発表会」高岡中 (大倉理科研究賞、高知県代表)

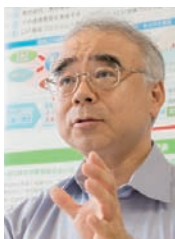


ふしぎ
はっけん
おもしろい

高知県教育委員会との連携・共同実施による中核的理科教員養成
**優れた授業力・指導力を持った
理科教員を育てる**

高知CST養成・活動事業

「ア・サイエンス・
ティーチャー」



教育研究部総合科学系
複合領域科学部門 教授
がもう けい じ
蒲生 啓司
東京工業大学大学院博士課程修了、理学博士。専門
は分離科学、有機化学。平成22～25年度高知CST
養成拠点構築事業実施委員長。「CSTの養成にあたって
は、『オール高知』で先生たちをバックアップで
きるような体制をつくりたいですね」

**子どもたちの
理科の心を育む
教員を養成**

近年、モノづくりやイノベーションの基盤として、児童生徒のための理科教育の重要性がクローズアップされています。その一方で、理科離れが進んでいるこの指摘もあります。そこで、高知県の小・中学生の理科力を向上させるため、高知大学と高知県教育委員会が連携し、小・中学校教員の理科教育の指導力向上を図る取り組みを行っています。それが、「高知CST養成・活動事業」です。平成22年から国の支援のもとで実施してきた第1期が25年度に終了。今年4月から第2期目をスタートしました。



養成プログラムの中でも力を入れる授業研究。
実験・観察の知識やスキルを高める。

カリキュラムには座学だけでなく、実習やフィールドワークも取り入れられています。また、高知県立牧野植物園や海洋研究開発機構高知コア研究所など、県内にある様々な教育研究機関や県内企業と連携・協力を図り、研究や開発の現場に直接行って学ぶことも多行っています。

養成プログラムの中で特に力を入れているのが、授業研究です。



第1期で
上級CSTに
認定を受けた
高知市立鴨田小学校
指導教諭
くすのせ ひろ あき
楠瀬 弘哲さん

地域の教育力アップに 役立ちたい

「養成プログラムでは、先進的な知識を学ぶことができました。県をあげてこうした取り組みをしてくれることは、理科教育の重要性が認められたという意味で心強いですね。今後は、プログラムで学んだことを他の教員に広めていくように活動したいです。また、他のCSTの先生方と連携し、独自の取り組みができるようになればと思います」

地域で支える高知CST養成プログラム



「子どもたちの科学的な心育てる教員であるCST(ア・サイエンス・ティーチャー)の育成が事業の目的です」と同事業の実施委員長として立ち上げから関わり、現在もCST担当教員である蒲生啓司教授は話します。

CSTとは、学校および地域の理科教育の中核的な役割を担う教員のこと。優れた教育実践を行うだけでなく、研修会での指導や助言、教材開発などを担い、地域の学校教員の指導力向上をけん引します。

「理科的・科学的にも見える目は、理科の授業で欠かせない観察や実験を通じて育まれています。CSTは授業の中で子どもたちに理科的・科学的な問いかけをし、子

どもたちの学び心を刺激します」と蒲生先生。

高知大学では県教育委員会との連携のもと、CST養成のための拠点整備や養成プログラムを実施。第1期では現任教員と大学院生の27名が、CSTの認定を受けました。

学び続ける 教員のやる気を 積極的にサポート

高知大学では、CST養成のための様々なカリキュラムを提供。CST受講者は、物理・化学・生物・地学の分野で高度な専門知識を学びます。

「養成プログラムは、現任教員にとって『学び直す』『学び続ける』場です。また、大学教員とのネットワークができることも受講者にとっては大きなメリットだと思います。何か疑問が生じた時、質問ができる場所があるというのは心強いのではないのでしょうか」



現任教員や高知大学大学教員、大学院生と共に
学校教員の指導力向上を目指す。

ができる貴重な機会です。プログラムを履修して得たCST認定は、高知県内の教員採用選考において加点の対象になり、大学院生の教員採用率の大幅アップが期待されます。

地域に広がる CSTの活動で 教育力を高める

高知CST養成活動事業では、教員のスキルアップだけでなく、広く地域全体の教育力を引き上げるための活動を展開しています。

すでに第1期CSTの活動により、様々な成果が表れています。たとえば、理科に関する研修会や実験観察講習会の開催数が大きく増加しました。また、理科を主たる研究教科として校内研究に取り組む理科教育推進校も大幅に増加しました。

「教員の理科教育力が向上することで、理科教育が子どもたちの学力向上のけん引力になり、高知県の教育力の底上げにつながると考えています。そのために、大学としてできることを進めていくつもりです」

第2期がスタートした高知CST養成活動事業について、高知大学は従前よりもさらに組織的に展開し、県との連携を進化させます。新たに若手の小学校教員も対象に含め、58名の養成を目標にしています。今後、CSTの教育現場での活躍が、「理科大好き」な高知の子どもたちを育てていくことでしょう。



PICK UP LECTURE
まなびの時間
高知大学の講義・研究

共通教育科目 文化財保存科学概論

毎年定員オーバーになり
抽選が実施される
人気の高い授業

定員20名という狭き門ながら、大勢の学生が履修を希望する人気授業があります。医学部以外の2年生以上を対象とする文化財保存科学概論です。文化財の保存について学べる授業は全国でも珍しく、中四国の国立大学では高知大学にしか設けられていません。「文化財を後世に残していくには何をしなければならぬか、技術的・概念的な話を織り交ぜながら教えます」と同授業の担当教員、松島朝秀特任准教授は話します。

松島先生は四国の大学でただ1人、文化財保存を専門とする研究者です。これまでに尾形光琳作の国宝「紅白梅図屏風」や琉球王朝の漆器など、貴重な文化財の調査に携わってきました。今年1月には四国霊場31番札所・竹林寺が所蔵する「阿弥陀如来立像」を調査。徳川家康の養女で土佐藩2代藩主の妻・阿姫が仏像の背中に家康を供養する裏書きを記していたことを発見し、大きなニュースになりました。

調査と保存について、
客観性のある
科学的な方法を学ぶ

松島先生が授業で学生に強調しているのは、客観性と謙虚さを持つて調査すること。調査に関わる人たちが情報を共有しやすくなるからだそうです。



分析が中心になります。竹林寺の阿弥陀如来立像の裏書きはエックス線による透過撮影で発見しました」

また、授業では具体的な文化財の保存方法として、温湿度計による正しい測定の方法なども実習。文化財を長持ちさせるためには、適切な温度と湿度が必要であることを体感します。

「高松塚古墳」は
『AKIRA』と同じ？
独創的な比喻を交えて講義

文化財の価値を実感させるべく、一見、雑学的にも思える話が多いのもこの授業の特徴です。



竹林寺所蔵「阿弥陀如来立像」
実像
エックス線透過機によって撮影された写真



絵金屏風の彩色光学調査



総合教育センター
特任准教授
まつ しま とも ひで
松島 朝秀

東京芸術大学大学院修了。これまでに国宝や重文を多数調査し、県内では絵金の調査も行っている。「文化財そのものよりも、文化財の周りにいる学芸員や修復家の方々と仕事をすることがすごく面白い。そういう現場に学生を連れていくと、とても喜びます」趣味は、オートバイと自転車とお酒。

Event info

高知大学で開催するイベントをご紹介します。

●11月1日(土)・11月2日(日)

テーマは黒潮家(くろしおけ)。実行委員会と参加団体が一つの家族のように来賓者をおもてなしします。

朝倉キャンパス「黒潮祭」

【時間】11月1日(土)10:00～19:30
11月2日(日)10:00～20:00
【場所】高知大学朝倉キャンパス
TEL.088-844-8150



朝倉キャンパス「黒潮祭」

●11月3日(月・祝日)

地域の特産物や農産物の販売、人気のトレーラー体験コーナーも！

物部キャンパス「一日公開」

【時間】9:00～15:00
【場所】高知大学物部キャンパス
TEL.088-864-5114



物部キャンパス「一日公開」

●11月2日(日)

講師に宅間一之氏を迎え
朝倉キャンパスにて記念講演開催！
〈第5回〉ホームカミングデー

【時間】14:00～14:20／記念式典
14:30～15:30／記念講演
16:00～17:00／懇談会

【場所】朝倉キャンパス

【講師】宅間一之氏 昭和31年度教育学部卒、高知県立歴史民俗資料館顧問
【演題】「長宗我部元親と土佐戦国の山城」

※詳しくは「高知大学総務部総務課」まで TEL.088-844-8100・TEL.088-844-8116



●11月8日(土)

高知大学吹奏楽団
〈第32回〉高知大学吹奏楽団定期演奏会

【時間】開場16:30／開演17:00
【場所】高知市文化プラザザるぼーと

●11月15日(土)

マンドリンクラブ
〈第55回〉高知大学マンドリンクラブ定期演奏会

【時間】開場18:00／開演18:30
【場所】高知県民文化ホール(オレンジホール)

●11月30日(日)

高知大学交響楽団
〈第55回〉高知大学交響楽団定期演奏会

【時間】開場13:30／開演14:00
【場所】高知県民文化ホール(オレンジホール)

●12月13日(土)

奇術部Trick or Treat
〈第14回〉マジシャンズパーティー

【時間】開場18:30／開演19:00
【場所】高知県民文化ホール(グリーンホール)

●12月20日(土)

高知大学合唱団
〈第43回〉高知大学合唱団定期演奏会

【時間】開場17:30／開演18:00
【場所】高知県立美術館ホール

●12月27日(土)

高知大学演劇研究会
〈第43回〉高知大学演劇研究会定期公演

【時間】開場17:30／開演18:00
【場所】アートゾーン薬工倉庫 蛸蔵

平成27年度 高知大学入試案内

推薦入試Ⅰ(出願期間)

平成26年 11月 1日(土)～11月 6日(木) 人 教 理 医 (看護) 農
平成26年 11月18日(火)～11月21日(金) 地

推薦入試Ⅱ(出願期間)

平成26年 11月 1日(土)～11月 6日(木) 医 (医)
平成27年 1月20日(火)～ 1月23日(金) 教 (幼児教育、教育学、教科教育) 農

AO入試Ⅱ(出願期間)

平成27年 1月20日(火)～ 1月23日(金) 教 (科学技術) さ (グリーンサイエンス、生命・環境)

一般入試 前期日程・後期日程(出願期間)

平成27年 1月26日(月)～ 2月 4日(水)

●大学案内・選抜要項等の資料をパソコン・携帯電話から
テレメール請求できます。

インターネットの場合(携帯電話・パソコン) <http://telemail.jp>

携帯電話・パソコンとも共有アドレスです。(iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ)



演習林で第7回トレイルランニングレース開催

人気のレースに県内外から244名

7月6日(日)、香美市土佐山田町上穴内の農学部演習林(嶺北フィールド)において「第7回高知大学農学部演習林トレイルランニングレース2014」を開催しました。トレイルランニングレースとは、登山道や林道など舗装されていない道を走るレースのことで、近年人気が高まっています。日頃から演習林で活動している教職員・学生の有志からなる実行委員会の運営により、演習林の林業用道路や作業用通路を利用して行われました。

第1回の参加者わずか29人で始まったこのレース、7回目となる今回は、ミドルコース(30km)とショートコース(15km)の2つの部門に、併せて県内外から244名の参加者がありました。参加者からは「パリエーションに富んだ面白いコースで楽しかった」との声が多く聞かれました。来年も開催の予定です。



▲スタート風景

高知大学発下水処理技術、新技術I類に選定

高知大学発の技術、全国へ

農学部門の藤原拓教授が前澤工業株式会社等と共同研究を行った「OD法における二点DO制御システム※」が、平成26年7月30日付けで、日本下水道事業団(JS)の新技術I類に選定されました。このことで、本技術がJSの受託建設事業における適用性を有することが確認されたことになり、今後高知県をはじめとする全国への普及展開が期待されます。「OD法における二点DO制御システム」は、藤原教授が平成12年に基礎研究を開始した下水処理技術であり、平成20年度から平成22年度には高知大学、香南市、高知県、前澤工業、JSの5者による産官学共同研究として高知県香南市野市浄化センターでの実証実験に成功しました。

※OD法とは、循環水路を用いた小規模向きの下水処理法のこと。国内約1,000カ所に設計されており、今後省エネ化が課題とされている。DOは水に溶けている酸素濃度のことを表します。(単位はmg/l)



▲野市浄化センター下水処理実証施設と藤原教授

教育学部

幼児教育コース平成27年4月に誕生

乳幼児教育のスペシャリストを育成

平成27年度から新しく幼児教育コースを開設します。高知県では初の4年制幼児教育コースで、幼稚園教諭一種免許状と保育士資格(申請中)の両方取得することが出来るほか、小学校一種免許状や特別支援教諭一種免許状も取得可能です。また、4年制ならではの充実したカリキュラムを準備します。たとえば、子どもの安全や健やかな成長について医学部と連携して学んだり、県や市と連携して地域の教育・保育や子育て支援について学んだりするなど、



▲幼児教育コース 教室イメージ



いろいろな角度から、乳幼児教育・保育を考えていきます。



学会賞受賞紹介

平成26年6月～8月までの教職員が受賞したものを紹介させていただきます。

先端医療学推進センター

山口 亜利沙 特任助教

第55回日本生化学会中国・四国支部例会
優秀研究賞

「GPI-アンカー型HRP融合タンパク質を用いるEMARS法による脂質ラフトの分別」

農学部門

河野 俊夫 教授

日本食品保蔵科学会 論文賞

「Simulation of Gas and Water Vapor Exchange in Perforated-film Modified Atmosphere Packaging Dynamic Storage Conditions」

臨床医学部門

島村 芳子 助教

日本腎臓学会

ベストサイテーション賞(Original article)

「Serum levels of soluble secreted α -Klotho are decreased in the early stages of chronic kidney disease, making it a probable novel biomarker for early diagnosis」

全日本学生ヨット選手権 四国水域予選優勝

ヨット部

7年ぶりの優勝!

高知大学ヨット部は、8月22日～24日に行われた全日本学生ヨット選手権四国水域予選の470級団体戦で、7年ぶりの優勝を果たしました。その結果、福岡県小戸ヨットハーバーで開催される第79回全日本学生ヨット選手権大会(10月30日～11月3日)に四国代表として出場します。



▲レースの様子

全日本
学生ヨット選手権も
がんばります!



ヨット部集合写真▶

地域協働学部 ブランドブック発行

新学部を より分かりやすく

平成27年度設置の新学部「地域協働学部」(設置認可申請中)のコンセプト(基本概念)をご理解いただくため「地域協働学部ブランドブック」(24ページ)を発行しました。高知大学の広報戦略室や入試課窓口で配布(無料)しています。

郵送をご希望の方は、「地域協働学部ブランドブック請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒(角型2号、住所・氏名を記入、返信用切手140円分を貼付)を同封のうえ、左記宛に請求してください。



・請求先 ※必要事項、返信用切手をお忘れなく
〒780-8520 高知市曙町2-5-1 国立大学法人高知大学広報戦略室
・地域協働学部に関するお問い合わせ
国立大学法人高知大学 新学部設置準備室/TEL.088-888-8042 E-mail:hj51@kochi-u.ac.jp

国際交流基金助成事業 決定通知書交付式を挙行政

学生の学ぶ意欲を サポートするために

高知大学では国際交流ポリシーに基づき、高知大学国際交流基金を使用して留学生や日本人学生に対して奨学金などを助成しています。平成26年度の高知大学国際交流基金助成事業は、「外国人留学生への奨学事業(一般型および短期プログラム型)」、「外国へ留学する学生への奨学事業」および「大学院生の研究発表を目的とする海外派遣事業」の3つの事業を募集し、多くの申請の中から3事業あわせて28件を採択しました。

脇口学長からは「百聞は一見に如かずということを実感して、多くを学んでほしいとのメッセージが採択者に送られました。」

